

横浜市の中学校における 今後の運動部活動の在り方

桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部 スポーツ教育学科

指導教員 齋藤れい

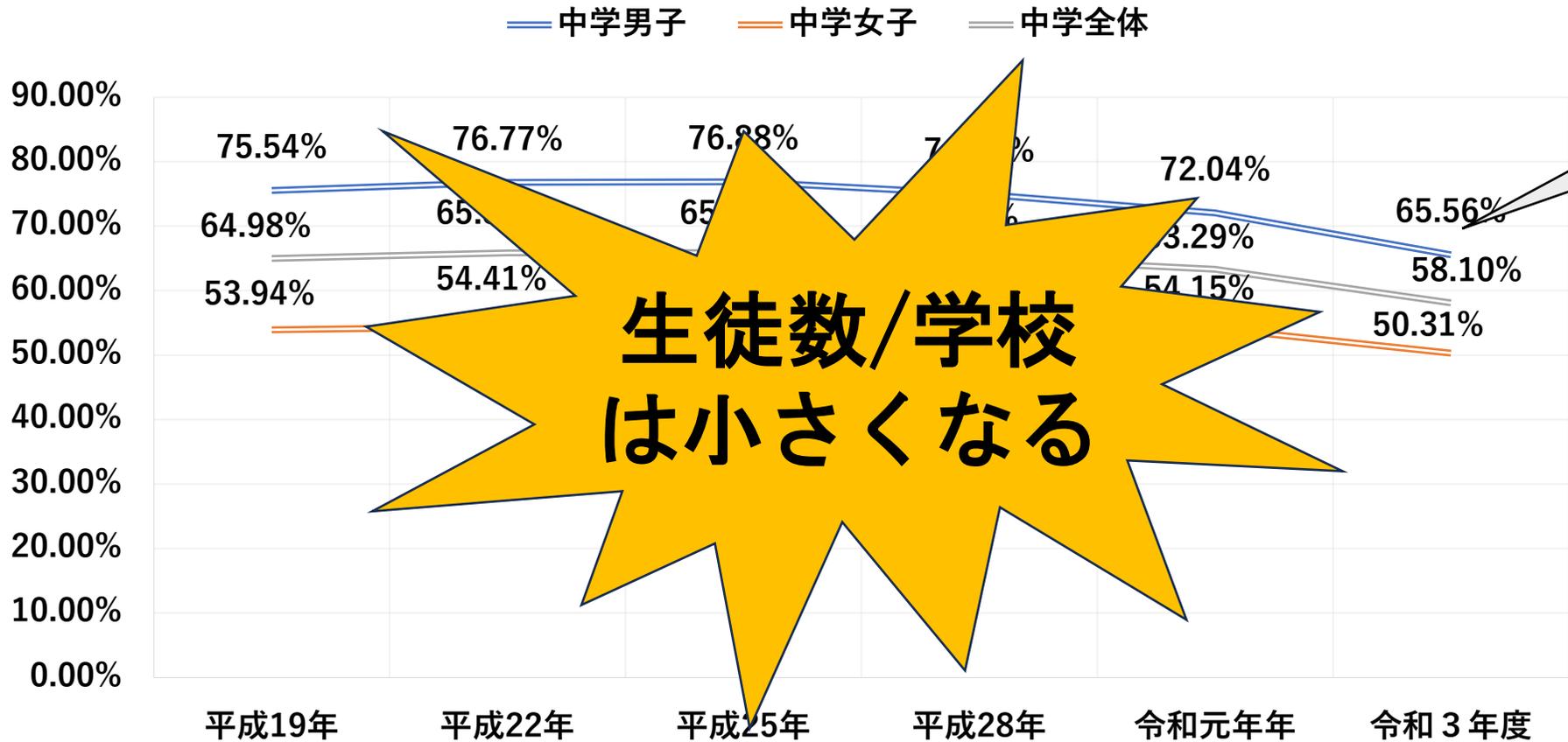
S20K004 木村太陽

部活動の課題

- ①運動部活動の参加率の減少
- ②中学校教諭の超過勤務

課題①：運動部活動の参加率の減少

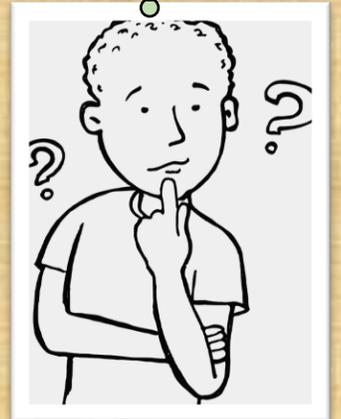
運動部活動の参加率(中学校)



生徒数/学校
は小さくなる

運動部活動の参加率は、年々**減少傾向**

部活動をやる場所
や仲間がいない...



課題②：中学校教諭の超過勤務

	平日			休日		
	平成18年	平成28年	増減	平成18年	平成28年	増減
a朝の業務	0:34	0:37	+0:03	0:00	0:01	+0:01
b授業	3:11	3:26	+0:15	0:00	0:03	+0:03
c授業準備	1:11	1:26	+0:15	0:05	0:13	0:08
d学習指導	0:05	0:09	+0:04	0:00	0:01	+0:01
e成績処理	0:25	0:38	+0:13	0:03	0:13	+0:10
f生徒指導(集団)	1:06	1:02	-0:04	0:00	0:01	+0:01
g生徒指導(個別)	0:22		-0:04	0:00	0:01	+0:01
h部活動・クラブ活動	0:34	0:41	+0:07	1:06	2:10	+1:04
i児童会・生徒指導会	0:06	0:06	±0:00	0:00	0:00	±0:00
j学校行事	0:53	0:27	-0:26	0:02	0:02	+0:10
k学年・学級経営	0:27	0:38	+0:11	0:01	0:01	+0:03
l学校経営	0:18	0:21	+0:03	0:01	0:01	+0:02
m会議・打合せ	0:29	0:25	-0:04	0:00	0:00	±0:00
n事務・報告書作成	0:19	0:19	±0:00	0:02	0:02	±0:00
o校内研修	0:04	0:06	+0:02	0:00	0:00	±0:00
p保護者・PTA対応	0:10	0:10	±0:00	0:02	0:02	+0:01
q地域対応	0:01	0:01	±0:00	0:01	0:01	±0:00
r行政・関係団対応	0:01	0:01	±0:00	0:00	0:00	±0:00
s公務としての研修	0:11	0:12	+0:01	0:00	0:01	+0:01
t会議・打合せ(校外)	0:08	0:07	-0:01	0:00	0:01	+0:01
uその他の公務	0:17	0:09	-0:08	0:03	0:04	+0:01

休日の部活動
に関わる時間
は
**10年前に比
べて約2倍**

中学校教員の残業時間

- 国が示す上限 月45
時間→約8割
- 過労死ライン 月80
時間→約4割

部活動の歴史

中学校		
改訂年	課内活動	課外活動
1947年	自由研究	
1951年	特別教育活動	
1969年	特別活動	部活動
	(必修クラブ活動)	(選択)
1998年	クラブ活動 部活動代替制度	
2008年	(廃止)	部活動
2018年		部活動

**教育課程外
に位置づけ
られている**

学校教育活動

教育課程内

- ・ 各教科
- ・ 特別活動
- ・ 総合的な学習の時間

関連

部活動

～部活動の業務～
「必ずしも教師が担
う必要のない業務」
に分類されている
(文部科学省, 2018) .

横浜の部活動～部活動の指針～(2015)を参考に筆者作成



部活動の法的位置づけが曖昧

教師の負担軽減の実現が必要

休日の運動部活動の地域移行に向けた**改革集中期間**

進捗状況を検証し、さらに改革



- ・ガイドラインの改訂
- ・地方公共団体における促進計画の策定・実施
- ・公的な支援

2023年から休日の部活動を段階的に**地域移行**する。

2025年までに全国で地域移行を目指すと提言されている。

具体的な方策

- 地域人材の確保
- 費用負担
- 地域ごとの実践研究



横浜市は？



- 中学校 → **145**校
- 中学生 → 約**76,000**人

横浜市の団体数

- 総合型地域スポーツ
→ **30**団体
- スポーツ少年団
→ **27**団体

**現実的に
難しい**

研究目的

運動部活動の

「地域移行における教員の負担軽減の可能性」に着目し現状を把握した上で、横浜市における中学校の運動部活動の今後の在り方」について検討する

(調査方法) 半構造化インタビュー

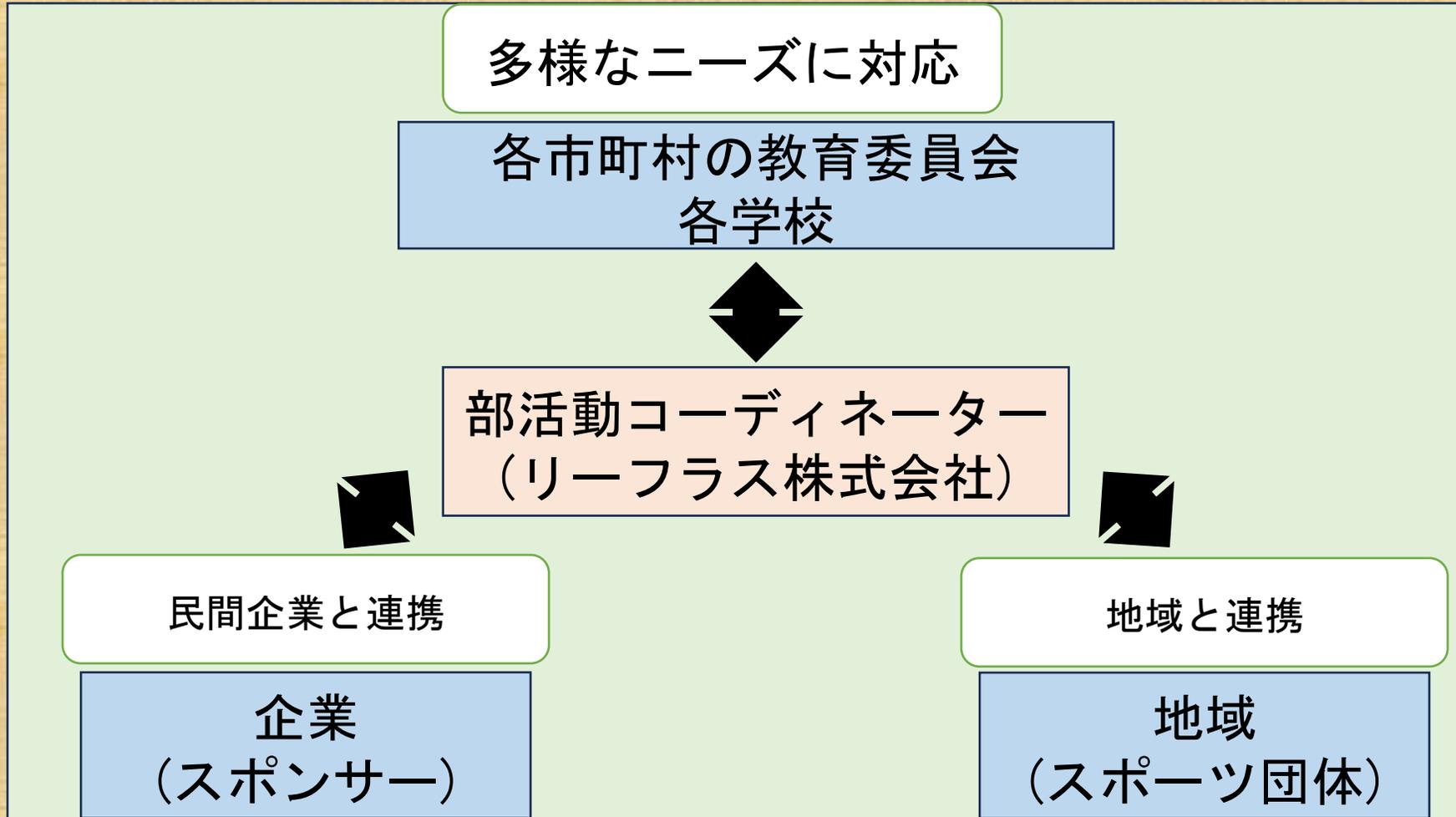
→インタビューは予めインタビュー項目を決めておき、録音やメモをとって質問を続けていく方法で行った。

(調査対象者) 部活動に携わる専門家3名

名前	役職	日時	場所
石川 智也	リーフラス株式会社 神奈川地域部活動事業担当	2023年12月3日	Googleミートで実施
藤 至光	横浜市立中学校体育連盟会長 横浜市立丸山台中学校校長	2023年12月4日	横浜市立丸山台中学校
照本 華	横浜市立瀬谷中学校教諭 バスケットボール部顧問	2023年12月5日	横浜市立瀬谷中学校

リーフラス株式会社

○部活動支援事業



質問項目	参考元
<p>1地域移行について</p> <p>Q1:横浜市が目指す部活動の地域移行の理想をお聞かせください。</p> <p>Q2:どのようにして民間企業と連携しているかお聞かせください。</p> <p>Q3:どのようにして地域と連携していくかお聞かせください。</p>	<p>(大勝,2011)</p> <p>(大勝,2011)</p> <p>(大勝,2011)</p>
<p>2部活動指導員について</p> <p>Q4:横浜市の部活動指導員の年齢の比率やデータがあればお聞かせください。</p> <p>Q5:横浜市の部活動指導員の取組についてお聞かせください。</p> <p>Q6:部活動指導員の課題についてお聞かせください。</p> <p>Q7:部活動指導員の成果についてお聞かせください。</p> <p>Q8:外部指導者と部活動指導員の現状についてお聞かせください。</p>	<p>(大勝,2011)</p> <p>(大勝,2011)</p> <p>(千葉,2021)</p> <p>(大勝,2011)</p> <p>(千葉,2021)</p>
<p>3役割について</p> <p>Q9:校内指導者(教員)に何を期待するのかお聞かせください。</p> <p>Q10:活動指導員に何を期待するのか、お聞かせください。</p> <p>Q11:保護者に何を期待するのか、お聞かせください。</p>	<p>(大勝,2011)</p> <p>(大勝,2011)</p> <p>(大勝,2011)</p>

結果・考察

1, 横浜市が目指す部活動の地域移行の理想



最終的には**完全移行**となれば良い



学校が**抱えきれない時**に、地域に受け持ってもらおう



教員の休日を確保し、子どもの体力の向上も目指すこと

3, 学校と地域はどのように連携しているか



地域や他社との**関わりは無い**



最終的には、**受益者負担**になる



私自身は部活動指導員を**取り入れていきたい**

4, 横浜市の部活動指導員の年齢の比率やデータ



年齢の平均では**大学生**の方, **50~60歳**の二極化の傾向



横浜は延べ**800名程**の部活動指導員が, 現場に出ている民間企業は**1社**、スポーツクラブは**1社**



部活動指導員は野球部, 柔道部 吹奏楽部 演劇部の**計4名**

5, 横浜市の部活動指導員の取り組み



土日のみの活動の指導員を派遣している



任用を行い、学校で募集して見つける



柔道部と吹奏楽部は最近取り入れたが、良い取り組み

6, 部活動指導員の課題



指導員の確保や体制の構築が必要,
また, 指導の質を高めること



指導性が異なること, 顧問教諭と打ち合わせする時間がないこと



保護者との連携の仕方や, 顧問の先生との連携時間が少ないこと

7, 部活動指導員の成果



石川氏

9校の中学校を指導しているが、**研究段階**である



藤氏

部活動指導員の**数**が増えている



照本氏

競技経験のない顧問より**成果**があげられること

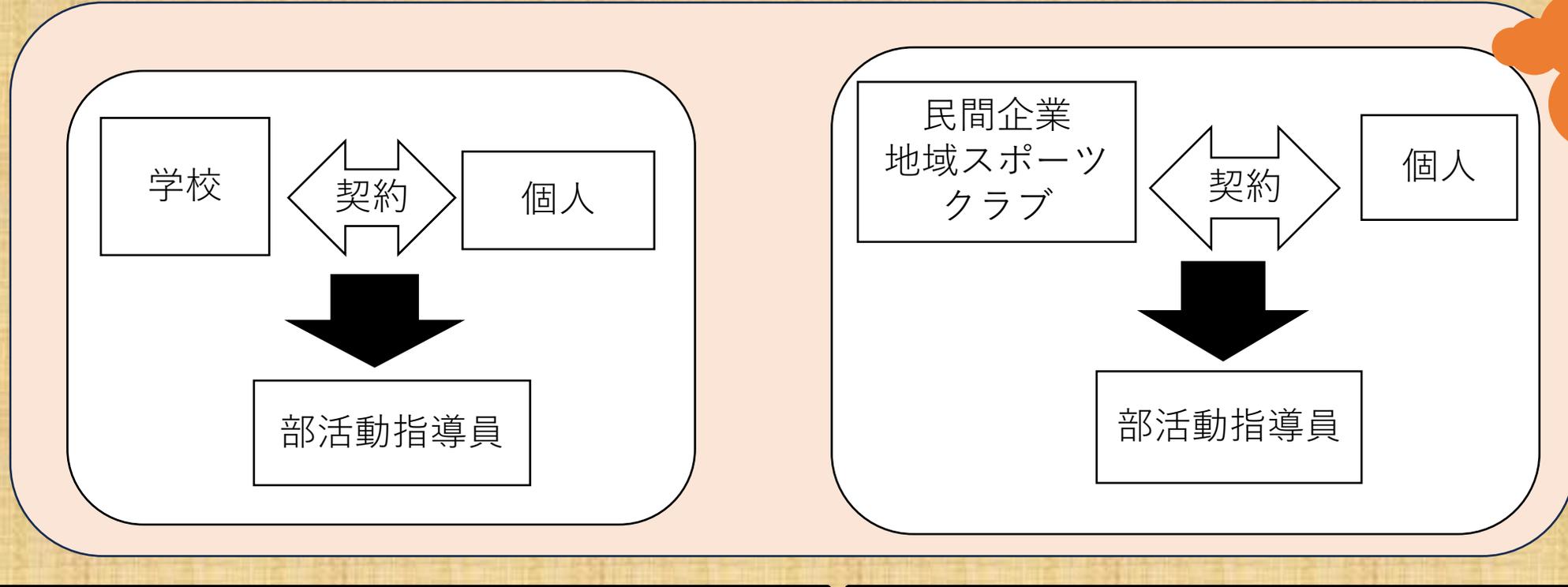
まとめ

～これから求められること～

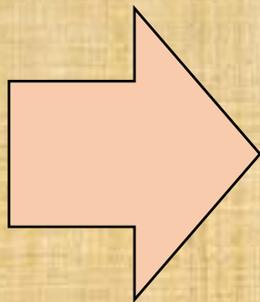
従来

研究段階

数校のみ

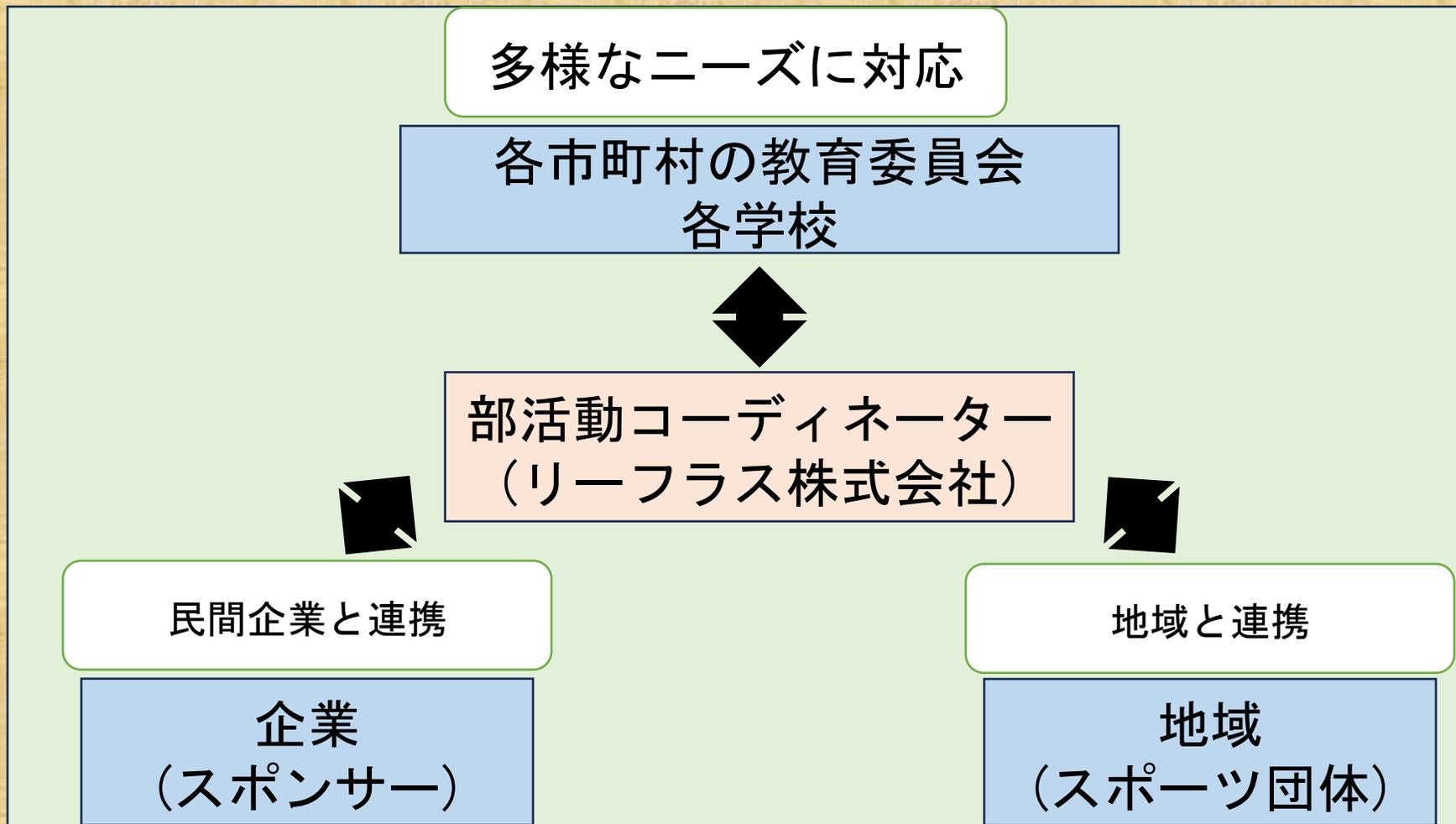


全校配置



設備充実が急務！

○部活動支援事業



参考文献

ウヴェ・フリック (2011) 小田博志監訳：第13章半 構造化インタビュー・

新版質的研究入門 初版第10刷 春秋社 180～214.

スポーツ庁 (2022) 令和4年度 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査の結果について.

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1411922_00004.html

(参照日 2023年12月10日)

スポーツ庁 (2022) 令和4年度 総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果 概要.

https://www.mext.go.jp/sports/content/20230324-spt_stiiki-300000800_1.pdf

(参照日 2023年12月10日)

西島央 (2006) 部活動：その現状とこれからのあり方. 学事出版：東京.

日本スポーツ協会 学校運動部活動指導者の 実態に関する調査報告書.

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/>

文部科学省 (2022) 運動部活動の地域移行に関する検討会議

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/035_index/index.html (参照日 2023年12月10日)

文部科学省 (2016) 学校における働き方改革に関する緊急対策.

https://www.mext.go.jp/content/20200210-mxt_zaimu-000004400_1.pdf (参照日 2023年12月10日)

文部科学省 (2020) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について.

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200902-spt_sseisaku01-000009706_3.pdf

(参照日 2023年12月10日)

文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 保健体育編.

https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf

(参照日 2023年12月10日)

文部科学省（2016）教員勤務実態調査（令和4年度）集計【速報値】～勤務時間の時系列変化～.

https://www.mext.go.jp/content/20230428-mxt_zaimu01-000029160_1.pdf

（参照日 2023年12月10日）

文部科学省（2017）スポーツ基本計画.

https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf（参照日 2023年12月10日）

文部科学省（2000）スポーツ振興基本計画（平成13年度～23年度）.

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm（参照日 2023年12月10日）

リーフラス株式会社（2023）部活動支援事業.

<https://leifras.co.jp/service-social/support/>（参照日 2023年12月10日）

横浜市役所（2023）総合型地域スポーツについて.[https://www.city.yokohama.lg.jp/](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/shinko/club.html)

[kanko-bunka/sports/shinko/shinko/club.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/shinko/club.html)（参照日 2023年12月10日）